

学びのススメ

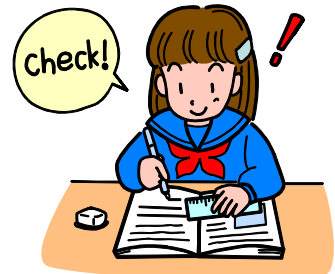
学年末テストの答案用紙から

学年末テストの答案用紙が全教科で返却され、先週金曜日にはテスト結果連絡票も配付されたところです。テスト結果には満足がいていますか？自分が設定した目標点数をクリアすることができましたか？

今回は、君たちのテスト勉強の様子と答案用紙から読み取れることを取り上げていきたいと思います。(3年生も他人事だと思わないで読んでみてください。)

～その1～ワークはみんな○なのに…

これについては、去年の「学びのススメ」にも掲載したことです。テスト後、提出されたワークブックを点検するわけですが、全部きれいに○がついているのに、同じ問題がテストに出ても不正解…こんなケースがよく見られます。ワークの正解はまぐれだったのでしょうか？もしそうだったとしたら、理解があやふやな問題については、たまたま正解だったとしても、○をつけずに、△をつけるなどして、後でしっかりと復習できるように分けておくとうい



～その2～問題をよく読んでいない

今回のテストでは、いつになくこの問題が目立ったように思います。国語の例を挙げると以下のようなものです。

- ▲記号で書く問題ではないのに、記号で答えている。
- ▲「一線部のみ直す」なのに余計な送り仮名をつける。
- ▲漢字を見間違っている。(「迫」と「追」)
- ▲二段落で書かなければいけないのに、一段落しかない。

テストの度に反省し、注意を促している事柄なのに、なかなかミスを防げない人がいます。「うっかりノート」を作成し、自分のミスの傾向をつかんでおくことが重要です。上に挙げたミスは防ぐことのできるもったいないミスです。



～その3～勉強をしっかりとしているのに…

家庭学習の状況を見ると、かなり勉強してきているのに、なかなかテスト結果に反映されない…という人もいます。勉強したからすぐにその効果が表れるといった簡単な話ではないのですが、一つ気になっているのが、家庭での学習環境です。特に1年生は携帯やスマホの所持率が高く、「LINE」などで仲間とつながっている人も多いようです。勉強の最中に、携帯やスマホに着信があり、集中ができない…そんな状況はありませんか？「勉強」＝「集中」なので、集中力が欠ける状況でいくら勉強してもプラスにはなりません。家庭での学習環境をもう一度見直し、必要があれば改善しましょう。

